

りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

令和4年7月発行



満開のりんごの花(5月4日撮影)

特集

2022 公開講演会・パソコン入門講習のご案内
2022-1 単位認定試験／2022-2 面接授業

- 2 | 巻頭言:『りんごに感謝』 一條 健司 先生
- 3 | “Professional Report” 山本 雄大 先生
- 4 | 在籍者の概要・新任職員の挨拶・
学生行事開催報告
- 5 | 2022公開講演会・パソコン入門講習のご案内

- 6 | 2022-1 単位認定試験のご案内
- 8 | 2022-2 面接授業について
- 10 | 次学期へむけての手続き
- 11 | 7・8・9・10月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



巻頭言

—かんとうげん—

りんごに感謝

青森学習センター客員教員

一條 健司



このたび機関誌「りんご」の巻頭言執筆の機会を頂戴し大変ありがたく思います。と申しますのも、長らく自宅の本棚に眠っていた『リンゴの歴史』エリカ・ジャンク著、甲斐理恵子訳、原書房、2015の存在を思い出し、ようやく読む機会を得られました。リンゴの原産地、園芸の広がり、神話や伝説、シードルなどについて楽しく学ぶことができました。りんごに感謝です。

せっかくりんご県に暮らしていますから、身近な施設でもりんごを学ぼうと、板柳町のふるさとセンターに足を運びました。栽培方法や病害虫対策に関する先人の偉業や古く貴重な書物などの展示をみて、沢山の努力がおいしいりんごを生み出し、りんご県の経済を支えていることを改めて痛感しました。りんごに感謝です。

ふるさとセンターの帰り道、冒頭の書籍に書かれていた“シードル”が頭から離れず、夕食に添えようとスーパーに立ち寄り、弘前市栄町製造のものを購入しました。その栄町のシードル工場は元々、今は美術館になったレンガ倉庫にあったようで、弘前の美術館とりんごとの繋がりを興味深く思いながら、グラス数杯をおいしくいただきました。りんごに感謝です。

専門(情報工学)に関する話題はないのかとお叱りの声が聞こえてきそうなので、冒頭の書籍に少しでも書かれていた Apple 社とスティーブ・ジョブズについて、ご存知とは思いますが触れます。Apple 社は、ジョブズの友人スティーブ・ウォズニアックが趣味で設計したパソコンを Apple I と命名し商品にしてビジネスをしようと、ジョブズの自宅にて1976年に創業されました。企業名と商品名に“Apple”を用いた理由として、ビートルズが1968年に設立した Apple Corps 社に由来するとの説があります。Apple I はウォズニアックの趣味が色濃く反映されたパソコンであったので、ジョブズは自分好みのパソコンのアイデアをウォズニアックに伝え Apple II が開発されました。これはヒット商品となり、ビートルズ側から“Apple”の商標を巡り提訴されたほどです。

Apple 社といえば Macintosh (マッキントッシュ) というパソコンを連想する方もいらっしゃると思います。これは Apple 社の新型パソコン開発プロジェクトを立ち上げたジェフ・ラスキンが、自身の好みのりんご McIntosh (和名は旭) から命名したパソコンです。McIntosh はカナダの農夫ジョン・マッキントッシュが1811年に偶然発見し栽培にのりだしたりんごだそうです。

Apple II も Macintosh も1970年代後半から1980年代のパソコン普及に一役買いました。もちろん現代に至るパソコンやスマートフォンの普及は、Apple 社の製品だけでなく、その他の数えきれない製品や技術が複雑に絡み合って形成されているわけですが、Apple 社は現代も ICT 社会の一翼を担っています。りんごに感謝です。なお実は、個人的には Apple 社の製品が好みに合わず長らく避けてきたのですが、今年はじめて iPad を使いました。りんごに感謝です。

Professional Report

「差別を口にする心理過程とは？（前編）」

客員教員 山本 雄大（八戸学院大学健康医療学部 准教授）

ある集団の成員であるという理由に基づいて排斥や迫害をくわえる「差別」は、それを向けられる被害者の社会達成や精神健康を害することはもちろんのこと、集団間の分断を強め社会の安定を揺るがす危険因子ともなります。このため、差別は是正されるべきものとみなされ、社会もこれを抑止する方向に進んできました。そうした努力もあってか、令和となった現代において露骨な形での差別を見かけることは少なくなりました。

明らかに減ったように見える差別ですが、差別を生み出そうとする心理過程自体は今も私の心の中に存在しています。Greenwald, McGhee & Schwartz (1998) は、記憶の中で結びついている情報は素早く処理されるという人間の性質を利用して、白人の名前 25 個、黒人の名前 25 個、ポジティブ語 25 個（例：幸せ）、ネガティブ語 25 個（例：醜い）をコンピュータ画面上で分類させる課題を行いました。その結果、質問紙上では黒人に差別的態度を持っていないと表明した白人の大学生でさえも、黒人の名前とポジティブ語を同じ側に分類する条件よりも黒人の名前とネガティブ語を同じ側に分類する条件の反応時間が短くなりました。これは、白人が黒人と否定的評価を結びつけた記憶表象を保持していることを示唆するものでした。同様の結果は黒人以外の被差別集団にも確認されています。これらの知見から、私たちは差別的な振る舞いをとらないように自制しているだけで、被差別集団に対する否定的評価に基づく嫌悪や敵意そのものは抱き続けている状態にあると言えます。当然のことですが、自制が緩めば、差別が言動に現れてしまうこともあります。では、どのような要因が自制を緩めるのでしょうか。それが私の研究テーマなのですが、誌面の都合もあるので、次の原稿でお話したいと思います。

★“Professional Report”は、青森学習センターと八戸サテライトスペースの客員教員が、専門分野について 2 回ずつ連載していくコーナーです。

★山本雄大先生は、八戸サテライトスペースでゼミを開講しております。途中からでも大丈夫ですので、ぜひご参加ください（スケジュール変更の場合がありますので、事前に八戸サテライトスペースへお問合せください）。

今後のゼミ予定 7/8(金)、7/29(金)、8/5(金)、8/26(金)

在籍者の概要

学生種別 在籍者数	学生種別	青森SC	八戸SS	青森+八戸	
	教養学部	全科履修生	321	240	561
		選科履修生	57	42	99
		科目履修生	26	13	39
		特別聴講学生	0	0	0
		小計	404	295	699
	大学院	修士全科生	0	1	1
		修士選科生	12	12	24
		修士科目生	1	1	2
		小計	13	14	27
合計	417	309	726		

在籍者の概要は、青森学習センターウェブサイト (<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/about/outline.html>) でご覧いただけます。例年、第1学期分を5月中旬に、第2学期分を11月中旬に更新しています。また、青森学習センター図書室には、冊子版の「在籍者の概要」(右の冊子)を配架しておりますので、ぜひご覧ください。



新任職員の挨拶

～はじめまして～

八戸サテライトスペース受付・図書担当 小笠原 真弓



4月より、八戸サテライトスペースで受付・図書担当としてお世話になっております。働き始めて、実際に放送大学の学び方や学生の皆様の多様性に触れ、その選択幅の多さに様々な可能性を感じました。また、10代～70代以上の方まで、あらゆる年代や職業の方が、自分で選択しながら学生として意欲的に学習している姿に、いつも良い刺激をもらっています。

日々の生活を工夫し、学ぶ時間を捻出して過ごされている方も多いと思います。学生の皆様が、来所時含め、スムーズに学習に入り、中身の濃い時間を過ごせるよう、微力ながらも快適な学習環境を整えるお手伝いをさせていただきます。

一日も早く皆様のお役に立てるよう、励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

～なりたい自分になれる場所～

八戸サテライトスペース受付・図書担当 小笠原 映子



今年の3月で地区の公民館を退職し、この4月から八戸サテライトスペースに勤務しています。今は、学問的興味や感心を持って来所される意欲的な学生方への対応に緊張する毎日です。

放送大学ってどんなところ？と聞かれることがあります。「場所や時間を問わず自分の学びたい領域の科目を、自分の都合とペースに合わせて学べる場所、なりたい自分になれる場所。」これが今の私の答えです。

少しでも早く仕事に慣れ、学生の皆様が気持ちよく利用できるよう努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

学生行事開催報告

学習相談会



4月9日(土)、青森学習センターにて学友会・同窓会主催の「考えてみよう『学習方法』」が開催されました。日頃の勉強の仕方や、科目の選び方等を聞いて、参加者は大いに満足されたようです。

八戸サテライトスペース文化祭

4月16日(土)～17日(日)、八戸サテライトスペースにてミステリーサークル主催の「八戸サテライトスペース文化祭 vol.7」が開催されました。7度目の開催となる今回は「Revival-リバイバル[再生]」をテーマに、マジックショー・学習相談会等、数々の催しを行いました。文化祭は、盛況のうちに終了したようです。



2022年度 公開講演会・パソコン入門講習のご案内

公開講演会

演題	日時	講師	会場/定員
健康長寿に挑む ー老化とのつきあい方を探ろうー	6月29日(水) 13:30～15:00	戸塚 学 氏 弘前大学教育学部教授 (放送大学青森学習センタ ー客員教員)	黒石公民館 多目的ホール [50名]
方言から地域を考える	8月20日(土) 13:30～15:00	柗谷 伸夫 氏 八戸市公民館館長	ユートリー 4階 研修室 [30名]
「誰一人取り残さない」SDGs 達成のために ー性の多様性と人権の視点からー	8月30日(火) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00	山下 梓 氏 弘前大学男女共同参画推 進室助教	青森県民福祉 プラザ4階 県民ホール [175名]
近世の廻船 ー「北前船」をめぐる諸問題と 盛岡藩領における廻船の建造動向ー	10月29日(土) 13:30～15:00	石山 晃子 氏 青森大学客員教授	下北文化会館 大集会室 [50名]
コロナ禍を乗り切るために ー感染対策の基本と 腸内環境が作る免疫力ー	11月19日(土) 13:30～15:00	藤田 あけみ 氏 弘前大学大学院保健学研 究科教授(放送大学青森 学習センター客員教員)	つがる市立図書館 セミナー・学習室 [20名]
ベートーヴェンのピアノ・ソナタ と共に (青森学習センター 公開レクチャー・コンサート)	12月4日(日) 13:00～15:00	浅野 清 氏 放送大学青森学習センタ ー所長(弘前大学名誉教 授)	弘前大学創立 50周年記念会館 みちのくホール [80名]

パソコン入門講習

講師：一條 健司 氏 弘前大学大学院理工学研究科准教授 (青森学習センター客員教員)

「エクセル (表計算ソフト) で家計簿を作ろう！」 例を参考にしながら、数式と関数を利用して家計簿を作成したり、支出の割合をグラフ化したりしながら、エクセルの基本的な機能を学びます。 「初めてエクセルを使ってみたい」という方におすすめです。	【青森SC会場】 9月10日(土) 13:00～16:00 青森 SC 講義室 [定員 10名]
	【八戸SS会場】 9月11日(日) 13:00～16:00 ユートリー研修室 [定員 10名]
「ワード (文書作成ソフト) でチラシを作ろう！」 例を参考にしながら、簡単な文字の入力やイラストの挿入をするほか、自分で撮影した写真を貼り付けて、簡単なチラシの作成方法を学びます。 「初めてワードを使う」という方でも大丈夫です。	【八戸SS会場】 2月18日(土) 13:00～16:00 ユートリー研修室 [定員 10名]
	【青森SC会場】 2月19日(日) 13:00～16:00 青森 SC 講義室 [定員 10名]

2022年度第1学期 単位認定試験のご案内

2022年度第1学期単位認定試験は、自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、試験問題閲覧・解答提出を行う**Web受験方式**にて実施し、自宅にインターネット環境がない等の理由で自宅等でのWeb受験が困難な方は、事前に申請した学習センター等の会場で受験します。（郵送受験科目は学習センター等での試験実施はありません。）

重要

- ◆「Web単位認定試験システム」には、システムWAKABAへの「ログインID・パスワード」を利用してログインします。**単位認定試験前までに必ずシステムWAKABAにログインできるかどうか確認をお願いいたします。**システムにログインできない場合は、学習センター・サテライトスペースへご連絡ください。
- ◆システムWAKABAには、放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp>)画面上部の「在学生」からログインできます。ログイン方法詳細は、本誌 P8 下部の「システム WAKABA での科目登録申請方法」をご覧ください。

◆1科目50分の時間制限があります。（郵送受験科目除く）

受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まった後は、受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。（一時停止不可、1科目1回のみ受験可能）

◆科目ごとに「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の併用式）のいずれかの形式で出題されます。「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します（郵送受験科目除く）。解答を作成し、最後に「解答を提出する」ボタンをクリックすることで解答送信（提出）します。（または、制限時間経過時点での解答が自動送信（提出）されます。）

◆郵送受験方式の科目（「正多面体と素数（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子化学（'19）」のみ）は、自宅等で受験します。（試験時間の制限なし）



◆6月下旬に発送される「単位認定試験通知(受験票)」で、受験資格をご確認ください。「単位認定試験通知(受験票)」に同封して、「単位認定試験受験に際しての注意事項」が送付されるので、併せてご確認ください。7月8日（金）までに未着の場合、大学本部にご連絡ください。（総合受付▶043-276-5111）

◆Web 単位認定試験体験版を公開していますので、**実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から単位認定試験前までに必ず体験版を操作しておいてください。**

Web 受験方式の科目を自宅等で受験される方

自宅等にインターネット環境があり、パソコン等の操作が可能な方は、**試験期間中（7月15日（金）9時～7月26日（火）17時）の都合の良い日時に**、インターネットを通じて「Web 単位認定試験システム」(<https://shiken.ouj.ac.jp>) にアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。

郵送受験方式の科目を受験される方（「正多面体と素数（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子化学（'19）」のみ）

試験期間中（7月15日（金）～7月26日（火）必着）に、自宅等で受験します。6月末ごろ大学本部から発送される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて解答を作成し、郵送により提出します。提出方法詳細は問題用紙等に同封します。（7月8日（金）までに未着の場合、大学本部にご連絡ください。（総合受付▶043-276-5111））試験時間の制限は行いません。

学習センター等で受験される方（※事前に申請済みの方のみ対象）

ご自宅にインターネット環境がない、パソコンの操作が困難等の事情により自宅での受験が困難な方は、「**授業科目案内**」およびシステム WAKABA に記載の**試験日・時限に**来所し、**学習センター等のパソコンをご自身で操作して、受験します。事前にご自身の試験日・時限をご確認ください。**

試験を開始する前までは職員がパソコン操作をサポートできますが、**試験開始後は、ご自身でパソコン操作をしていただきます。職員はサポートできませんのでご了承ください。**

Web 単位認定試験システムで問題閲覧し、● 択一式の問題については、選択肢をクリックすることで解答、● 記述式の問題については、記述式解答用紙への記入により解答、● 併用式の問題については、択一式の問題は選択肢をクリックすることで、記述式の問題は記述式解答用紙への記入により解答します。

（次ページに続く）

学習センター等で受験される方（※事前に申請済みの方のみ対象）	
試験日	●大学院…7月15日（金）・16日（土） ●教養学部…7月17日（日）～24日（日）※7/18・7/22は閉所日
試験会場	●青森学習センター…青森学習センター視聴学習室 ●八戸サテライトスペース…八戸サテライトスペース視聴学習室
座席	座席はすべて科目ごとの指定となります。 試験会場入口の掲示物を必ず確認してください。
受験の際に必要なもの	① システム WAKABA の ID・パスワードを、試験室のパソコンに入力できるよう準備してください。 ② 単位認定試験通知（受験票） ③ 学生証 学生証の受け取りがまだの方、または有効期限切れの方は、試験前までに必ず所属の学習センター・サテライトスペース窓口にて受け取りを済ませてください。 ④ 持込み許可物品（受験票とともに送付される資料を確認してください。） ⑤ 筆記用具
自習室	「学習センター受験」実施期間中は、下記施設を自習室として開放します。（※7/18・7/22は閉所日） 利用にあたっては、当日の掲示物を必ず確認してください。 ●青森学習センター 青森学習センター講義室 9:00～18:00 ●八戸サテライトスペース ユートリー 4 階情報室 9:00～17:00 ※7/19のみ「ユートリー 4 階デザイン室」
駐車場	●青森学習センター 単位認定試験の際は、公共交通機関をご利用ください。 ※単位認定試験期間中（平日）は、駐車場を利用できません。 ●八戸サテライトスペース 八戸駅前駐車場を3時間以上ご利用の場合は、当日限り有効で500円に割引になる「イベント券」を発行しますので、事務室窓口にお申し出ください。

その他注意事項

●試験時間中、不正行為、身代わり受験、その他試験の秩序を乱す行為等があった場合は、失格および懲戒の対象となります。

●天災、交通機関の事故、大雪・凍結・台風・大雨等による交通機関のみ、その他受験生の責任に帰さないやむを得ない事態（ただし、自家用車等使用時の学生の責任による事故等は除きます。）により、受験に支障が生じた場合は、学習センター・サテライトスペースにご連絡ください。

●7月15日（金）～7月24日（日）は、下記施設の利用を停止いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、あらかじめご了承くださいませよう願いたします。

青森学習センター・・・「視聴学習室・図書室」、八戸サテライトスペース・・・「視聴学習室」

結果

8月下旬に大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。

再試験

今学期登録した科目で、単位を修得できなかった場合は、次の学期に学籍がある場合に限り（休学中を除く）、科目登録をしなくても再試験を受験できます（再試験に係る授業料等はかかりません）。今学期で在学期間が終了する方は、出願期間に次の学期の入学出願を行い、学籍を継続してください。（この場合、他に受講希望科目がなければ、出願時の学費は入学料のみとなります。）

●その他ご不明な点がございましたら学習センター・サテライトスペースにご連絡ください●

2022年度第2学期 面接授業について

面接授業とは

「面接授業（スクーリング）」は、学習センター等で他の学生と一緒に教員から直接指導を受けます。幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。

- 1科目1単位で、授業料は5,500円（放送授業は1科目2単位）。
- 全8回（90分×7回+45分×1回）の授業を受講し、成績評価は試験、レポート等により行われます。
- 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業を20単位以上修得する必要があります。
- 選科履修生・科目履修生も履修が可能です。
- 全国で約8割の科目が土・日に開講されています。



科目登録の

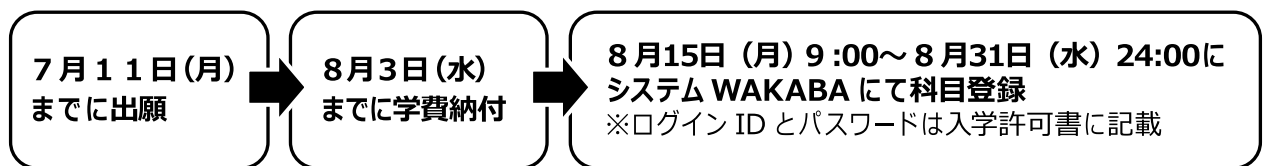
在学の方は、下記の期間に**放送授業・オンライン授業**とともに**科目登録申請**を行ってください。なお、在学には7月中旬に「**科目登録申請要項**」が送付されます。

- 「**科目登録申請票**」による申請期間 … 8月15日（月）～8月30日（火）**私書箱必着**
- システム WAKABA による申請期間 … 8月15日（月）9:00～8月31日（水）24:00

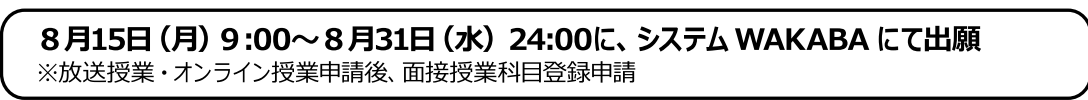
入学学期当初からの科目登録

入学学期当初から面接授業の登録申請をする場合は、下記の手続きにて申請できます。全科履修生、選科履修生、科目履修生のすべての学生種の方が登録できますが、下記のように入学の区分により手続き方法が異なります。詳細は「**学生募集要項**」にてご確認ください。

- ◆ **新規入学の方**
- ◆ **再入学の方**（過去に放送大学を卒業または在籍したことがあるが、2022年度第1学期に学籍のない方）



- ◆ **継続入学の方**（2022年度第1学期に学籍があり、継続して入学される方）



トピック

連携面接授業・システム WAKABA での科目登録申請方法

連携面接授業

放送大学の北海道・東北ブロックの学習センターでは、毎年、共通テーマのもと、シリーズで連携面接授業を開講しております。

2022年度の共通テーマは「自然との共生」。青森学習センターでは、5月7日～8日に「自然地理学で学ぶ青森」を開講しました。皆様、機会がありましたら次回ぜひご参加ください。



システム WAKABA での科目登録申請方法

登録したい科目が決まったら、システム WAKABA にログインしましょう！

- ① 放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp>) を開き、画面上部の「在学学生」をクリック。
- ② 「システム WAKABA（教務情報システム）」をクリック。
- ③ 「ログイン」をクリック。【ログインID】と【パスワード】を入力し、ログイン。
- ④ 【教務情報】タブを選択し、「科目登録申請」をクリック。
- ⑤ 科目登録申請メニュー画面が表示されるので、「申請画面」をクリック。画面下段の「科目登録申請」から【面接授業】タブをクリックして、科目を登録する。

開設科目一覧

	科目区分	科目コード	クラスコード	科目名(担当講師)	会場	日程	定員
青森学習センター	専門科目: 社会と産業	2601770	K	上京、Uターン、観光の人類学 ★ (白石 壮一郎 先生)	青森 学習センター	10月29日(土)1～4時限 10月30日(日)1～4時限	15
	基盤科目: 外国語	2601702	K	英語で地元を語ろう ★ (多田 恵実 先生)	青森 学習センター	11月 5日(土)1～4時限 11月 6日(日)1～4時限	15
	専門科目: 心理と教育	2601486	K	心理検査法基礎実習 (田名場 忍 先生・田名場 美雪 先生・高橋 恵子 先生)	青森 学習センター	11月12日(土)1～4時限 11月13日(日)1～4時限	16
	基盤科目	2601699	K	はじめからのパソコン操作 (一條 健司 先生)	青森 学習センター	11月19日(土)1～4時限 11月20日(日)1～4時限	15
	専門科目: 心理と教育	2601761	K	心理学実験 1 (平岡 恭一 先生)	青森 学習センター	11月26日(土)1～4時限 11月27日(日)1～4時限	16
	専門科目: 生活と福祉	2601753	K	青森の食品機能学 ★ (前多 隼人 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	12月 3日(土)1～4時限 12月 4日(日)1～4時限	20
	導入科目: 人間と文化	2601710	K	芸術は人生に必要な夢、魂の救済 (岩井 康頼 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	12月10日(土)1～4時限 12月11日(日)1～4時限	20
	導入科目: 自然と環境	2601737	K	光と私たちの日常生活 (櫻田 安志 先生)	青森 学習センター	12月10日(土)1～4時限 12月11日(日)1～4時限	15
	導入科目: 人間と文化	2601729	K	「曲名」でたどる西洋音楽の歴史 ★ (朝山 奈津子 先生)	青森 学習センター	12月17日(土)1～4時限 12月18日(日)1～4時限	15
専門科目: 生活と福祉	2601745	K	健康長寿のための運動理論と実際 (戸塚 学 先生)	青森 学習センター	12月24日(土)1～4時限 12月25日(日)1～4時限	15	
八戸サテライトスペース	専門科目: 人間と文化	2601834	Q	キリスト教哲学の歴史 (井川 昭弘 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	10月15日(土)1～4時限 10月16日(日)1～4時限	20
	専門科目: 生活と福祉	2601796	Q	健康生成論とストレス対処力 (戸ヶ里 泰典 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	10月29日(土)1～4時限 10月30日(日)1～4時限	20
	専門科目: 心理と教育	2601800	Q	性格心理学入門 (金地 美知彦 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	11月 5日(土)1～4時限 11月 6日(日)1～4時限	20
	専門科目: 人間と文化	2601842	Q	是川遺跡の縄文考古学 (小久保 拓也 先生・杉山 陽亮 先生・横山 寛剛 先生)	是川縄文館	11月26日(土)1～4時限 11月27日(日)1～4時限	20
	専門科目: 社会と産業	2601818	Q	計算機を用いた音の生成・加工 (越田 俊介 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	12月 3日(土)1～4時限 12月 4日(日)1～4時限	20
	基盤科目	2601788	Q	SDGsを読み解く (横田 将志 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	12月10日(土)1～4時限 12月11日(日)1～4時限	20
	専門科目: 社会と産業	2601826	Q	シミュレーションと機械設計 (杉本 振一郎 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	12月17日(土)1～4時限 12月18日(日)1～4時限	20
	専門科目: 自然と環境	2601850	Q	データ科学入門 (島内 宏和 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	1月 7日(土)1～4時限 1月 8日(日)1～4時限	20

★不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で開講する科目です。

追加登録

科目登録決定後に、さらに定員に余裕がある科目については、追加登録を受け付けます。
科目登録申請期間中に登録できなかった方や、学期途中で履修科目を追加したい方は、ぜひご利用ください。
詳細は、9月中旬～下旬頃に案内チラシ送付にてお知らせします。

- 空席状況発表日…10月15日(土)12時
- 事前申請期間…10月15日(土)12時～10月19日(水)
- 先着申請期間…10月20日(木)～各科目の受付期限まで



次学期へむけての手続き

重要

2022年度第2学期単位認定試験は「Web 受験方式」にて実施します。ご不明な点はお問合せください。

次学期も学籍が続く方

科目登録申請が必要です。7月中旬に大学本部より送付予定の「科目登録申請要項」等を参照のうえ、科目登録申請を行ってください。①郵送 または ② WEB (システム WAKABA) のどちらか一つの方法で申請してください。

- 申請期間 ①郵送… 8月15日(月)～8月30日(火) 私書箱必着
②WEB… 8月15日(月) 9:00～8月31日(水) 24:00

※8月下旬に発送される成績通知の到着を待つ科目登録申請を郵送すると、申請期間内に到着しない恐れがあるため、システム WAKABA で成績を確認のうえ、システム WAKABA から科目登録申請を行うことをおすすめします。

※学部生は、放送授業・オンライン授業のほか、面接授業の科目登録もあわせて行ってください。

※単位認定試験は試験期間中であればいつでも自宅等から受験できますが、登録システムの設計上、「授業科目案内」に記載の試験日・時限が同一の科目を重複して登録することはできません。

※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。電話▶043-276-5111(総合受付)

※全科履修生が、科目登録申請および授業料納入を4学期間(2年間)続けて行わない場合は除籍となります。現在3学期間にわたって科目登録をしていない方は、この期間にぜひ科目登録をされることをおすすめします。

9月末で学籍が切れる方

継続入学出願が必要です。①郵送 または ② WEB (システム WAKABA ログイン → 教務情報 → 継続入学申請) のどちらか一つの方法にて出願してください。

- 出願期間 ①郵送… 6月10日(金)～9月13日(火) 私書箱必着

※集団入学または共済組合を利用して入学した方および自主退学者には、継続入学関連書類は送付されませんので、出願される方は「学生募集要項」を入手のうえ出願してください。

- ②WEB… 6月10日(金) 9:00～9月13日(火) 17:00

※WEB出願の場合も、証明書類は9月13日(火)私書箱必着

なお、下記にあたる場合は、出願方法や出願時期にご注意ください。



(A) 入学学期当初より面接授業の科目登録を希望する場合

必ず8月15日(月) 9:00～8月31日(水) 24:00(在学生の科目登録期間)に、システム WAKABA 「教務情報→継続入学申請」にて出願し、放送授業・オンライン授業申請後に、面接授業科目を登録申請してください。※郵送による出願や、上記期間外に出願した場合は、学期当初からの面接授業科目の登録ができません。

(B) 2022年度第1学期に登録した科目の通信指導再提出・再試験のみを次学期に希望する場合

出願票裏面の設問欄(桃色)「継続入学生の方へ」の回答を「はい」として○を記入して出願してください。その場合は、入学料のみ必要となり、授業料は不要です。「科目登録欄」は空白にしてください。2022年度第1学期単位認定試験に合格した場合は、この出願は無効となります。

(C) 過去に全科履修生として在籍したことのない選科・科目履修生が、全科履修生として入学希望の場合

システム WAKABA または、「学生募集要項」を取り寄せたうえで「全科履修生出願票」にて出願してください。入学資格を証明するための証明書類などの提出が必要となります。

卒業見込の方

今学期履修中の科目の成績によって卒業が確定する方は、出願を希望する場合、成績確定後に出願を行ってください。2022年度第1学期の成績通知は、8月下旬を予定しております。

※入学学期当初より面接授業の科目登録を希望する場合は、システム WAKABA で成績を確認し、必ず8/15(月)～8/31(水)に、システム WAKABA 「教務情報→継続入学申請」にて出願し、放送授業・オンライン授業の申請後に、面接授業科目を登録申請してください。



7月・8月・9月・10月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 単位認定試験
 利用停止

新型コロナウイルス感染症の状況により、急なスケジュール変更をする場合があります。青森学習センターウェブサイトでお知らせいたします。

7月	月	火	水	木	金	土	日
						1	2
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

7月	
	15日(金)～26日(火)：2022年度第1学期単位認定試験 (Web受験方式)
	27日(水)：臨時閉所日
面接授業	9～10日：「近代青森のあゆみとくらし」(青森)

8月	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

8月	
	12日(金)～16日(火)：臨時閉所日
	15日(月)：2022年度第2学期科目登録申請 開始
	26日(金)：2023年度修士全生・博士全生出願締切
	30日(火)：2022年度第2学期科目登録申請 《郵送締切》
	31日(水)：2022年度第2学期科目登録申請 《WEB締切》 ：2022年度第2学期 第1回出願締切 (教養学部、大学院修士選科・科目生)

9月	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

9月	
	1日(木)：2022年度第2学期 第2回出願受付開始 《～9/13》 (教養学部、大学院修士選科・科目生)
	13日(火)：2022年度第2学期 第2回出願締切 (教養学部、大学院修士選科・科目生)
	24日(土)～30日(金)：図書室・視聴学習室の利用停止

10月	月	火	水	木	金	土	日
							1
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

10月	
	1日(土)：2022年度第1学期学位記授与式・ 2022年度第2学期入学者のつどい(青森)
	2日(日)：2022年度第1学期学位記授与式・ 2022年度第2学期入学者のつどい(八戸)
	15日(土)：2022年度第2学期面接授業 【12時】空席発表 追加登録事前申請受付開始 《～10/19》
	20日(木)：2022年度第2学期面接授業 追加登録先着申請受付開始 《～各科目の受付期限まで》
面接授業	15～16日：「キリスト教哲学の歴史」(八戸) 29～30日：「上京、Uターン、観光の人類学」(青森) ：「健康生成論とストレス対処力」(八戸)

臨時閉所日

8月12日(金)～16日(火)

上記の期間は臨時閉所いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

新学期準備に伴う利用停止期間

9月24日(土)～30日(金)

新学期準備のため上記の期間は、図書室・視聴学習室の利用を停止します。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。





事務室からのお知らせ



各種スケジュール(ゼミ・その他行事)は、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止または延期となる場合があります。決定し次第、青森学習センターウェブサイトでお知らせし、センター・サテライトスペースへ掲示いたします。ウェブサイト等を確認できない場合は、電話でお問い合わせください。(面接授業は受講者へ個別に連絡いたします。)

2022年度第2学期入学生 募集中 【出願期間：6/10(金)～9/13(火)】

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集!

あなたのまわりに「学びたい人」いませんか?

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がいましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介します。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの人が10月にはともに学ぶ仲間になっているかも…?もちろん、継続入学生も大歓迎です!

資料請求、体験学習・入学相談を随時承っております。お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。



放送大学でともに学ぼう!

2023年度入学 修士全科生・博士全科生 募集中

修士全科生は修士課程を修了して「修士(学術)」の学位取得を目指す学生、博士全科生は博士後期課程を修了して「博士(学術)」の学位取得を目指す学生です。入学資格を満たす方に対し入学者選考(筆記試験、面接試験)を行った上で入学を許可します。募集要項を希望の方は、お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。

出願期間：8/15(月)～8/26(金)

住所変更手続きについて

(「学生生活の栞」教養学部版p87、大学院版p81、「利用の手引き」p18参照)

入学後、「現住所」「連絡先の電話番号」に変更があったときは、速やかに『住所等変更届』(「学生生活の栞」巻末に様式あり)を下記宛先へ提出してください。**システム WAKABA「教務情報→変更・異動手続」**からも届出できます。

なお、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

★提出先★

- 教養学部 → 所属の学習センター・サテライトスペース
- 大学院 → 修士全科生 → 大学本部教務課大学院研究指導係
- 大学院 → 修士選科・科目生 → 大学本部学生課入学・履修係

通信制大学にとって、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

各種証明書の発行について

(「学生生活の栞」教養学部版p100、大学院版p92、「利用の手引き」p19参照)

「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料(1通につき200円)を添えてお申込みください。証明書の種類によっては、発行まで2週間程度を要する場合があります。

窓口でのお支払いの際のお願い

つり銭の用意が無いため、細かい紙幣、小銭をご準備いただくか、事前に支払額のわかる場合は丁度の金額をお持ちください。ご協力をお願い申し上げます。

★郵送での申込方法★

①～③を青森学習センターへ送付してください。

- ①『諸証明書交付願』 ※学部用、大学院用があります
- ②発行手数料分の郵便定額小為替証書 ※現金の場合は現金書留をご利用ください
- ③返信用封筒(長形3号、切手貼付、宛名明記)
※種類・通数により重量が異なりますので、切手は94円以上をおすすめします

青森学習センター

〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階

TEL:0172-38-0500 FAX:0172-38-1299 Twitter:@aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階

TEL:0178-70-1663 FAX:0178-70-1667

青森学習センターむつ校

〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内

TEL:0175-28-3500 FAX:0175-28-3400(※視聴・貸出のみ対応)

青森学習センターあおもり校

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)

TEL:017-776-2455 FAX:017-776-2400(※視聴・貸出のみ対応)

放送大学ウェブサイト

<https://www.ouj.ac.jp/>

青森学習センターウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>

